

# 令和3年度シラバス（教科・科目：芸術・音楽探究〔新課程〕）

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制午前・夜間	単位数	必履修・選択
午前	2	選択

準教科書	学習書・他教材
『高校音楽Ⅱ 改訂版 Music View』教育出版 『高校音楽Ⅰ Music View』教育出版	なし

学習目標
音楽の構造を理解するとともに自己表現力を高める。また創作する過程で音楽のさまざまな要素の知識を深め、表現能力を身につけ、社会に出てからも音楽を愛好する心情を育てる。

学習計画		
学習項目	学習内容	試験範囲
表現 歌唱  楽典・器楽  鑑賞  (35)	<歌唱> 課題曲（5，6曲）の中から1曲選び、歌詞の内容と曲の構成を理解し、それを踏まえて各自で表現の工夫をはかり、自身で表現すべく練習し発表する。 <器楽> キーボードの弾き方を学び、和声とコードについて理解を深め、簡易伴奏を考え、弾けるようにする。 <鑑賞> 日本音楽史、西洋音楽史を学び、時代ごとの音楽的特徴を各自1曲取り上げて調べ、それを授業内で発表する。	実技テスト <歌唱>課題から1曲 <器楽>独奏伴奏1曲 その他 授業で配布したプリントの提出。
表現 歌唱・器楽  創作・鑑賞  (35)	わかば祭での発表 <歌唱> 日本の歌・外国の歌などジャンルを広げ、各自で選曲した歌曲を表現の工夫をしながら演奏し、発表する。 <器楽> 和楽器を含めた楽器の選択をし、各自で選曲し、表現の工夫をしながら演奏し、発表する。 <創作> 音階の種類を学び、それを使った使った簡易メロディを創作し発表する。	実技テスト <歌唱>独唱1曲 <器楽>独奏1曲 <合奏又は合唱1曲> <創作>課題曲1曲 その他 授業で配布したプリントの提出

評価規準と評価方法			
評価は、次の4観点から行う。			
音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技法	鑑賞の能力
授業に意欲的、積極的に取り組んでいる。	発声、奏法の理解、技能の修得、さらに自分なりの表現を工夫している。	コードの仕組みなどを正しく理解してさらに伴奏作りや表現活動に生かしている。	日本音楽について学び、鑑賞、和楽器の演奏を行い、理解を深め自身の表現活動に生かしている。
実技テストとプリントの提出。目標を自分で設定し、それに向けての技術の向上のために意欲的、積極的に授業に取り組む。			

授業の進め方、課題・提出物など
教科書も用いるが、各自で選曲をする中で、表現、鑑賞、創作活動をする。宿題はないが、授業中に配布したワークシートや課題プリントは必ず提出すること。

担当者からのメッセージ
音楽Ⅰを履修し、音楽の仕組みや表現を深めたいと思う人たちに学んでもらいたいと思います。そして社会に出てからも音楽活動を楽しむために主体的・積極的に取り組んで下さい。